

F★★★★★

ホルムアルデヒド放散等級

GX

EPOMARINE

エポマリン

GX

亜鉛めっき面用エポキシ樹脂塗料下塗

亜鉛めっき、
アルミニウム、
ステンレス等への

最強の付着性

亜鉛めっき面用の下塗塗料として適している。

非鉄金属などへの付着性が優れている。

海浜工業地区などの高腐食環境においても高い防食性を発揮する。

 **KANSAI**
PAINT

亜鉛めっき用エポキシ樹脂塗料下塗

系 統

アミンアダクト硬化形エポキシ樹脂系下塗塗料

塗料性状

項 目	内 容
1	荷姿 18kgセット ベース : 16.2kg 硬化剤 : 1.8kg 4kgセット ベース : 3.6kg 硬化剤 : 0.4kg
2	混合比(重量比) ベース/硬化剤=9/1
3	色 赤さび色、白、グレー
4	塗料密度(塗料比重) 1.30(白)
5	溶剤密度(溶剤比重) 0.87
6	加熱残分 61%(白)
7	劇物表示 (品名・含有率) —
8	労安法上の 表示有害物 ベース : キシレン トルエン 1-ブタノール メチルイソブチルケトン エチルベンゼン 硬化剤 : —
9	使用有機溶剤種別 ベース : 第2種有機溶剤等 硬化剤 : —
10	消防法による 危険物区分 ベース : 第1石油類(非水溶性) 硬化剤 : 第2石油類(非水溶性)
11	硬化剤の成分 による区分 変性脂肪族ポリアミン

注) 上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

塗装要領

- ① 調合と熟成 ベースと硬化剤を規定通りの割合でよく混合し、十分に攪拌したのち使用してください。
- ② 使用シンナー名 標準 : テクトEPシンナー
夏期 : テクトEP遅乾シンナー
- ③ 希釈率(重量比) エアレス : 0~10% ハケ塗り : 0~5%
- ④ エアレス塗装条件 2次圧 10MPa(100kg/cm²)以上、チップNo.163-515~619

塗付量と膜厚

	平均膜厚		標準塗付量 ^{注)}
	Dry(μm)	Wet(μm)	g/m ² /回
エアレススプレー	60	140	300
ハケ塗り	40	90	160

注) 標準塗付量は、代表的な塗付量での記載で、個々の条件によって異なります。

乾燥時間/塗装間隔/使用時限

項 目	温 度	5℃	20℃	30℃
		指触	3時間	1時間
乾燥時間	半硬化	24時間	16時間	8時間
	最短	48時間	16時間	10時間
標準塗装間隔 ^{注)}	最長	10日	10日	7日
	可使時間	12時間	8時間	6時間

注) 同じ塗料又は同系統の塗料を塗り重ねる場合です。

適用素材

素材種類	内部		外部	
	塗替	新設	塗替	新設
電気亜鉛めっき	○	○	○	○
溶融亜鉛めっき	○	○	○	○
アルミニウム	○	○	○	○
ステンレス	○	○	○	○

素地調整

- 1) 被塗面の異物(研削材、ダスト、油脂汚れ、水分)や粉化物などは塗装前に除去してください。
- 2) 亜鉛めっきに塗装する場合は、安定した付着性を確保するために下地調整はスリーブプラストまたはリン酸亜鉛処理を行なってください。できない場合は、研磨処理(電動工具、手工具など)を行なってください。しかし塗膜の密着性にばらつきが生じることが多いので入念な処理を行なってください。

適用上塗塗料

防食製品	レタン中塗E、レタン6000、エポマリン、セラテクトU中塗・上塗、セラテクトF中塗・(K)上塗、セラテクトマイルド中塗(E)、セラテクトUマイルド上塗、セラテクトFマイルド上塗
建築製品	カンペ1液MレタンHG、セラMレタン、アレスレタンセラMシリコンⅢ、セラMフツ

施工上の注意事項

下記の注意事項を守ってください。

製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 予 防 策

取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気機器等を使用すること。
裸火又は高温の発熱体に噴霧しないこと。
本来の目的以外に使用しないこと。
当社指定以外の材料を混合しないこと。仕上り性、付着性、耐久性など性能に支障をきたすおそれがあります。
缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
取り扱いは、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
塗料が付着した布ウエス、紙、ローラーは引火、発火を防止するため水に浸漬するなどして安全対策を行うこと。

■ 対 応

目に入った場合: 直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
皮膚に付着した場合: 直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
吸入した場合: 空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

■ 保 管

指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
直射日光、雨ざらし、凍結を避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

■ 廃 棄

本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

■ 施工後の安全

本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。
例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

